

令和6年度区長会からの市施策に対する要望（案）について

令和6年度区長会からの市施策に対する要望について、区長会意見交換会の意見をまとめました。第5回区長会（本日）にて意見を伺い、2月開催の第6回区長会にて、区長会長から多治見市長に手渡します。

記

（１）自助共助の防災意識が高まるよう、発災時における自主防災隊の具体的な初動対応について指導してほしい。

＜区長の意見＞

- ①多くの区民が自主防災隊について、名前だけ出しておけばよいと思っている
- ②役割を決めておいても災害時に機能するか疑問
- ③避難所開設時に必要な役割が混じっている。初動時の対応についての訓練が必要
- ④防災活動は共助を育むのに一番いい。講習会や防災訓練等で指導してほしい

（２）自治会役員の負担感が増していることから、市政協力業務委託料から役員に謝礼を支払うことを認めてほしい。

＜区長の意見＞

- ①市から、区役員や町内会役員に謝礼を支払ってほしい
- ②多くの区で区役員や町内会役員に謝礼を支払っている
- ③対象役員や謝礼金額が区や町内会ごとに異なるので、統一することは困難

（３）民生児童委員等の選出や市からの業務依頼に負担感があるため、依頼する内容を見直してほしい。

＜区長の意見＞

- ①高齢者の会費の減免や役の免除などに取り組んでいるが脱会者は増えている
- ②区役員の割当てに対する負担感が原因で脱退する町内会があった
- ③区長会の資料を減らしてほしい

（４）高齢者や脱会者が増えて役員の選出に苦慮している。福祉委員や青少年委員、体育委員の選出ができない町内会があっても認めてほしい。

＜区長の意見＞

- ①高齢化や世帯数減少に伴い各町内で区役員の担い手が少なくなり負担が増えるため、9町内会を3グループに分けてグループ化し役員数の減少を諮り各町内の負担を軽減した。福祉委員、青少年委員、体育委員は3町内会で1人ずつ選任する。兼務という考え方はできない